

JICA 海外協力隊 帰国後の活動「シリア出前講座」 ～世界を知り、平和について、自分ができることを考える～

国際協力機構（JICA）は、これまでアジア・アフリカ・中近東・中南米・大洋州地域の開発途上国に JICA 海外協力隊を派遣しており、その活動は開発途上国の発展に寄与すると同時に、帰国後は、地域を元気にする担い手として日本各地で活動しています。

この度、2024年3月に JICA 海外協力隊の任期を満了され、4月から山口県宇部市立岬小学校に復職した岡崎友里先生が、JICA のシリア難民留学事業「JISR」(*) の修了生を講師に迎え、自身が担任を務める **6年生の児童 29名を対象に「シリア出前講座」**を行うことになりました。

岡崎先生は、社会科の単元で、日本とつながりのある国として中東サウジアラビアを学習した際、より広い視野を持って世界のことを知ってもらうために、シリアや JICA 海外協力隊で自身が派遣されたヨルダンでの体験に触れながら、ODA 事業や JICA 海外協力隊についての授業を行いました。そして、2学期の修学旅行で広島県を訪れた際には、「平和のために自分たちができること」について考えました。

今回の授業では、児童に世界のことを知り、より広い視野を持って「地球の平和」について理解を深める平和学習に繋げていきたいという岡崎先生の願いがこめられています。つきましては、この度の機会を、広く県民・市民の皆様にご伝えていただきたく、**ぜひ、当日の取材をご検討ください。**

場所	日時・内容
宇部市立岬小学校	1月28日（火）13:50～15:10（5・6時間目） ※到着後は、事務室にお声がけください。 《当日の流れ》 ① 講師とオンライン接続 講師（JISR（*）第1期修了生 Mohannad Yakoub）自己紹介 ②シリアとは（基礎情報と中東アラブ文化の紹介） ③シリアの文化、伝統、食べ物 ④戦争の影響と生活の変化、支援活動 ⑤講師の現在の活動（算数教育の支援活動）

※JISR（ジスル）とは：シリア難民に対する人材育成事業「シリア平和への架け橋・人材育成プログラム（Japanese Initiative for the future of Syrian Refugees：JISR）」。2016年5月に日本政府が表明した中東支援策の1つで、シリア危機により就学機会を奪われたシリア人の若者に教育の機会を提供するものです。JICAは技術協力の枠組みの中で、ヨルダン、レバノンに難民として逃れているシリア人の若者を対象に、2017年より留学生を日本に受け入れています。本プログラムは、JICAとして初めて難民を留学生として受け入れる事業で、難民支援に知見を持つ国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の協力を得ながら実施しています。

ご取材頂ける場合は、担当者：山口県 JICA デスク 水野までご連絡下さい。

電話：080-2934-8498（（公財）山口県国際交流協会内 山口県 JICA デスク）

メール：jicadpd-desk-yamaguchiken@jica.go.jp

【本事業担当者】

JICA 中国 市民参加協力課 担当：新川 佐藤
TEL：082-421-6305 FAX：082-420-8082
E-mail：jicacice@jica.go.jp

地球から世界へ、世界から地球へ
元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

